



Campus
SEIJO

学生生活 No.271

発行日 2025年4月1日
編集・発行 成城大学・学生部学生課
〒157-8511 世田谷区成城6-1-20

編集責任者
編集 平野裕敏・佐々木貴之・井上英彦・土田ひとみ
印刷 岩岡印刷工業株式会社



学生生活 No.271

Campus **SEIJO**

広報誌

特集

新入生歓迎号

成城大学を知ろう!

学長挨拶

学部長からのメッセージ

学友会を知ろう!

文化部連合を知ろう!

体育部連合会を知ろう!

イベントに参加しよう!

新入生が大学生活を
よりよく送るために

食堂・売店・施設 information

学部長からのメッセージ

News & Information

CS 大学施設紹介

CS メッセージ

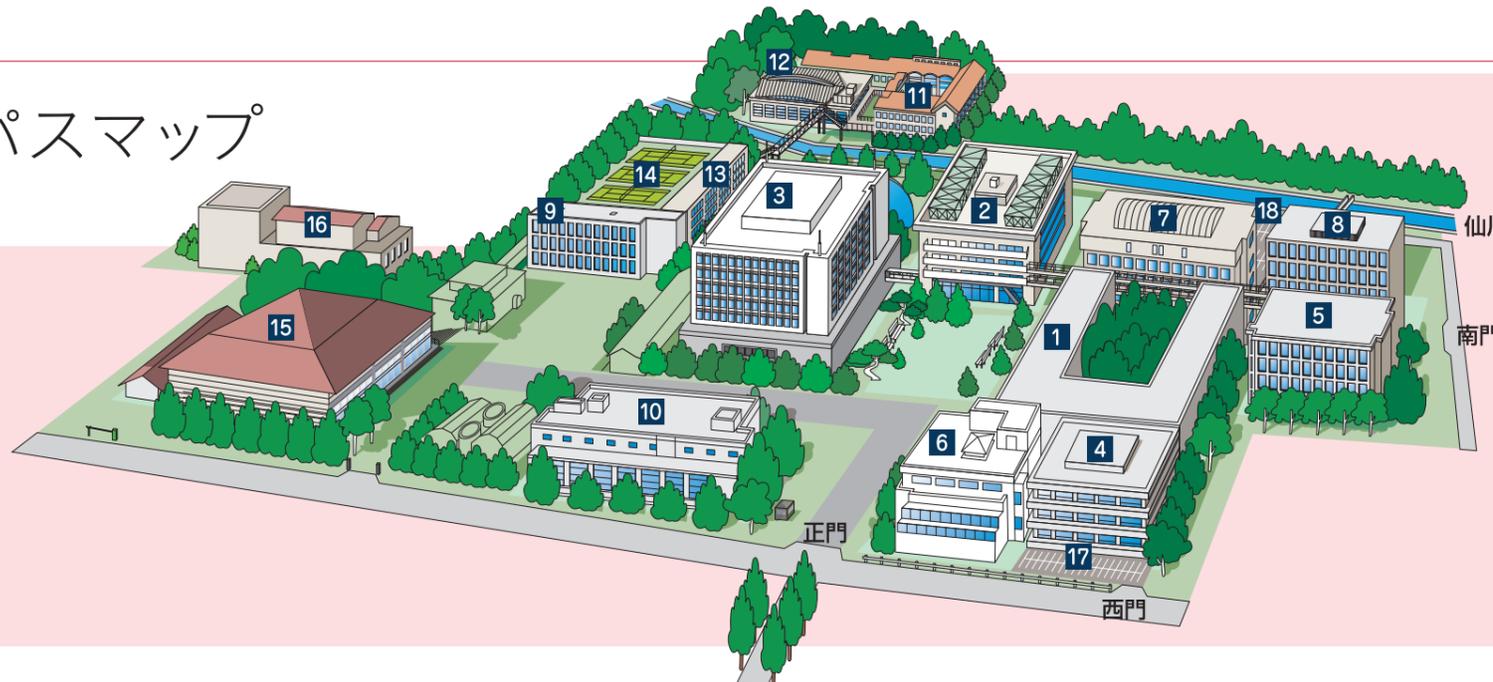
CS 新入生へ

CS インフォメーション

大学施設紹介

成城大学キャンパスマップ

- 1 1号館
2 2号館
3 3号館
4 4号館
5 5号館
6 図書館
- 7 7号館
8 8号館
9 9号館



- 10 法人事務局・大学食堂棟
11 体連クラブハウス
12 トレーニングセンター
13 文連クラブハウス・大学道場
14 第1テニスコート
15 澤柳記念講堂
16 第1体育館
17 第1駐輪場
18 第2駐輪場

大学施設紹介

大学事務室を知ろう！

新入生の皆さんが卒業するまで利用する大学事務室です。
業務内容や場所をしっかりと覚えておきましょう。

1 1号館 1階

学生部

学生生活全般、課外活動、
健康管理等の窓口

- 学生課：☎ 03-3482-9081
- ▶ 課外活動（学生自治活動）に関する事
 - ▶ 学生証、通学（電車・バス等）証明書、自転車登録、学割証等に関する事
 - ▶ 休学・復学・退学等に関する事
 - ▶ 住所変更および身上異動（保証人変更・氏名変更等）に関する事
 - ▶ 授業の欠席に関する事
 - ▶ 授業・学校行事・課外活動・通学中等における事故・怪我に関する事（学校教育研究災害保険）
 - ▶ 遺失物・拾得物に関する事
 - ▶ 授業料等納付金の延納および分納等に関する事
- 奨学金担当窓口：☎ 03-3482-9080
- ▶ 奨学金（給付・貸与）に関する事
 - ▶ 教育ローンに関する事
- 大学保健室：☎ 03-3482-9085
- ▶ 健康診断の実施
 - ▶ 健康管理・健康相談（医師・看護師）
 - ▶ 応急処置や要休養者への対応

キャリアセンター

キャリア形成、就職活動支援に
関する窓口

- キャリアセンター：☎ 03-3482-9063
- ▶ キャリア形成、就職活動支援、資格取得に関する事（相談・ガイダンス等）
 - ▶ 求人に関する事
 - ▶ 卒業・修了年次生の進路登録に関する事
 - ▶ インターンシップに関する事

- ▶ キャリア教育・キャリア形成支援に係る各種プログラム（授業科目を含む）に関する事
- ▶ 大学指定履歴書の配付
- ▶ キャリア関連資料の閲覧・貸出

教務部

学生の教学に関する窓口

- 教務課：☎ 03-3482-9045
- ▶ 授業に関する事
 - ▶ 履修登録、履修相談
 - ▶ 学業成績に関する事
 - ▶ 定期試験および定期試験に代わるレポートに関する事
 - ▶ 卒業論文・卒業研究に関する事
 - ▶ 転学部・転学科、卒業・修了延期に関する事
 - ▶ 休講・補講、授業教室に関する事
 - ▶ 履修の手引・シラバス・授業時間割に関する事
 - ▶ 学籍および成績に係る各種証明書の発行に関する事
 - ▶ 教職課程・学芸員課程に関する事
 - ▶ 科目等履修生・聴講生・他学部聴講に関する事

なんでも相談窓口

☎ 03-3482-9046

この窓口は、学生のみなさんが、どこに問い合わせをしたらよいか分からないことや、ちょっと困ったことがあった時に、気軽に立ち寄ってもらえるための場所です。

窓口の相談は、スタッフおよび大学カウンセラーが担当します。学習に関することや学生生活に関する事など、気軽にご相談ください。相談の内容によっては、どこでどのような支援を受けられるかなど、一緒に解決するお手伝いもします。

ぜひ、気軽にいらしてください。お待ちしております。

相談方法 カウンセラーとの面談は、窓口で予約できます。
「電話による相談」もお受けします。

4 4号館 1階

■学生相談室：☎ 03-3482-9086

- ▶ 学生相談（学生生活を送る中で出会うさまざまな問題に関する相談）
- ▶ 心理相談（公認心理師・臨床心理士・医師）
- ▶ 法律相談（弁護士）
- ▶ 心理・性格検査の実施

■バリアフリー支援室：☎ 03-3482-5984

- ▶ 修学相談（障がい等による修学上の困難に関する相談）
- ▶ バリアフリーサポーターに関する事

9 9号館 1階

国際センター

学生の留学相談、学内の国際交流に
関する窓口

■国際センター：☎ 03-3482-9020

- ▶ 留学および短期語学研修に関する事
- ▶ SIEP 成城国際教育プログラムについて
- ▶ 外国人留学生に対する奨学金や在留手続きに関する事
- ▶ 学内で出来る国際交流に関する事
- ▶ 国際交流科目に関する事

12 トレーニングセンター

■トレーニングセンター事務室：☎ 03-3482-5790

- ▶ 施設利用に関する事
- ▶ 利用者のサポートに関する事

教室番号の見方を知ろう！

教室番号は「号館番号」「階数」「部屋番号」の組み合わせにより3桁で表示されます。

Ex.) 731 : 7号館 3階の教室
302 : 3号館地下1階の教室 (0は地下)
53G : 5号館 3階の(ゼミ)教室

例外(大教室)

002 : 2号館地下1階 007 : 7号館 4階
003 : 3号館地下1階 008 : 8号館 4階

オフィスアワーについて

講義に関する疑問や質問あるいは、進路、学生生活に関して教員に相談できるオフィスアワー制度を設けています。各教員のオフィスアワーは履修の手引もしくは各学部事務室で確認できます。予約が必要な場合もありますので、あらかじめ各学部事務室に問い合わせください。

もちろん、オフィスアワー以外の時間帯でも質問・相談はできます。その際はあらかじめ予約を取っておいたほうがよいでしょう。



安心して挑戦できる学びの場へようこそ

学長 杉本 義行



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。みなさんを成城大学の一員としてお迎えすることを、在学生ならびに教職員を代表して歓迎致します。

成城大学を擁する成城学園は、いまから108年前に新宿区の牛込に設立された成城小学校から始まりました。創設者の澤柳政太郎は、現在の東北大学、京都大学の総長を歴任し、自らが理想とする小学校をつくりました。今年は、成城学園が新宿から世田谷に移転してちょうど100周年にあた

り、成城の街と連携してさまざまな行事が予定されています。

さて、東京ドーム約2.3個分(13万㎡)の自然豊かなワンキャンパスに、成城学園は幼稚園から初等学校、中学校高等学校そして大学、大学院と全ての学校種が集まっており、他大学には珍しい大きな特徴となっています。この立地のため、朝、夕の登下校時やお昼休みの時間帯には、正門前に広がるいわゆる“中庭”に園児、児童、生徒、そして大学生やその保護者が行き交い、自然な形で多世代が触れ合うことで、知らず知らずのうちに他者への思いやりや共感の心が育まれているのではないかと考えます。実際、学生へのアンケート調査に

よれば、成城生は“まじめ”、“素直”、“誠実”と評価されることが多く、外部の講師や就職先の方々からもその人柄が高く評価されています。本学で学ぶことのメリットの一つは、共に学ぶ仲間恵まれていることだと自信をもっています。私がオープンキャンパス等でいつも「学生が自慢です!」と述べているのには根拠があります。

その例として、学生による学生に対するさまざまな支援活動である“ピア(仲間)サポート”があります。この活動は、学外からも高く評価されています。どの大学でも、新入生のみなさんが、困っていることの一つに、時間割作成があると聞きます。そんな時は、教務部や所属学部ガイダンスはもちろん、サポーターによる「時間割相談」もきっと助けになるでしょう。ぜひ気軽に相談をして、充実した時間割を作成してください。

大学での学びは、まずはみなさんが所属する学部・学科の専門の学びが重要となるのはいうまでもありません。みなさんが学ぶ専門は、物事を理解し、思考するための“道具(ツール)”となります。もちろん、道具は唯一ではありません。他の専門も学ぶことで新しいものの見方に感動したり、驚嘆したりすることもあるでしょう。分厚い全学共通科目群での学びは、そんな感動が待っているかもしれません。

もちろん、大学での学びは教室だけに閉じてはいません。企業との連携や、他大学の学生、異なる年齢層の学習者との学びは、教室内では得られない貴重な経験になります。学園の出発点である成城小学校の学びの特徴は、児童がさまざまな経

験を通じて学ぶことにあると私は理解しています。教室内の学びはもちろん、学外でのさまざまな経験も、大きな学びとなることは言うまでもありません。たとえ、修得単位とならない正課外の授業であっても、面白そうだなと直感することにぜひチャレンジしてみてください。

ところで、チャレンジはいつもうまくいくわけではありません。私は、大学とは失敗を貴重な学びへと変える場であると考えています。失敗の経験を見つめ、振り返り、どのように改善していくかを見出す“経験学習のサイクル”こそが、みなさんの成長を促すのです。どうか、失敗を恐れず、むしろその一つひとつを自分自身の貴重な学びと捉え、積極的に挑戦していただきたいと思います。そのために、仲間同士が安心して失敗できる環境となるように、ぜひ協力してください。

成城大学という、安心して失敗できる学びの場で、仲間や先輩、教職員と共に多くの経験を積み、夢や目標に向かって思い切り挑戦してください。私たちは、みなさん一人ひとりの成長と挑戦を全力で支援し、いつでも温かく見守りたいと考えます。成城大学での学びと経験が、みなさんの未来への確かな力となることを願っています。

杉本義行学長 プロフィール

すぎもと・よしゆき

東京大学大学院農学系研究科農業経済学専攻博士課程
中退。農学博士。
専門分野 食料経済学、応用ミクロ経済学
成城大学経済学部教授
2022年4月より学長





文芸学部長 木下 誠

学部長からのメッセージ

大学という「社会」で
新たな経験を

文芸学部の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。教職員一同、こころより歓迎いたします。高校までの生活とは異なる新たな経験に向けて、それぞれの一步を安心して踏み出してください。これから始まる4年間のみなさんの歩みを、成城大学の関係者全員が応援しています。

大学生としての経験にはさまざまな可能性があるかと思いますが、大学入学によって「さらに学ぶ権利を手に入れている」ということを、みなさんの可能性のもっとも重要な条件として強調したいと思います。そう、義務ではなくて権利です。たしかに卒業までの実際のカリキュラムを見てみると、必修科目というものがあります。かならず履修して単位を修得する必要がある科目です。そうしたいわば義務化された科目は、みなさんが学ぶ権利を最大限に活かせるように、学部や所属する学科が設定しています。必修科目の受講を通して吸収した知識やスキルをもとに、自分がなにをどのように学んでいくか、主体的に選択することができるようになるわけです。みなさんのそうした学ぶ権利を、4年間にわたって大切にしてほしいと願っています。というのも、2020年度から数年間続いたいわゆるコロナ禍の時期、わたしたち教職員は、学生たちの「学ぶ権利」に十分応えられないことに、忸怩たる思いを募らせてきたからです。しかしその困難は、教育の意義やその望ましいあり方について再考を促し、創意工夫の機会になりました。みなさんの在学中にも不測の事態が生じるかもしれませんが、協力して乗り越えていきましょう。

学業の話は少し急ぎすぎたようです。入学したばかりのみなさんは、大学生活に期待しつつ不安を感じながら、新しい経験になんていくことに関心があるでしょう。そこでまずは、大学キャンパスでの滞在時間を大切にしてほしいと思います。入学早々、卒業の話は場違いかもしれませんが、「大学を卒業して社会に出る」という言い方があります。こうした言葉づかいは、「社会」の意味を少しばかり狭く限定しすぎています。経済的な自立を目指し、仕事を持って自分の生活（全体とまではいかなくてもかなりの部分）を自分で支えようとする中で、初めて「出た」と言えるような場としての「社会」。しかし、「社会」とはそれだけではありません。ある一定の空間を共有し、相互に結びついたり影響を与えあった

り支えあったりする人々のまとまり、というくらいの緩やかな意味で「社会」を捉えてみれば、大学もまた「社会」であることがわかるでしょう。学生、職員、教員がキャンパスの空間を共有しながら、成城大学という「社会」を日々作り上げています。みなさんはその「社会」に受け入れられ、守られると同時に「社会」を構成し、「社会」に変化をもたらすのです。

どうすれば大学という「社会」に自分なりの居場所を見出し、積極的にかかわれるでしょうか。一例としてみなさんに紹介したいのは、先輩たちが自主的に活動している各種サポーター団体です。国際交流サポーター、バリアフリーサポーター、ピアサポーター、ライブラリーサポーター、就業力サポーター、データサイエンスサポーターなどがあります。まずはサポートをお願いしてもいいですし、そのうちにサポートする側にまわれたらなおのこといいでしょう。そうした活動を通して学生同士で互いに学び合うことで、みなさんがそれぞれ成長し、そして成城大学という「社会」をみなさんが変化させ成長させます。それは入学によって手に入れた、学ぶ権利のもっとも魅力的な使い道とも言えるでしょう。

いわゆる「社会」の全体が見えにくいと同様に、大学という「社会」の全体像も、最初はなかなか分かりづらく、ひとによってはとっつきにくく感じられるかもしれません。それでもキャンパスに通い、いろいろなひとたちとかわりながら、日々の新たな経験を積み重ねることによって、「社会」は少しずつ近いものに変わっていくはず。その変化はみなさんの成長であり、みなさんの成城大学の成長でもあるのです。

木下誠学部長 プロフィール

きのした・まこと

筑波大学大学院博士課程文芸・言語研究科単位取得満期退学、博士(文学)。

2008年成城大学文芸学部准教授、2019年同教授。専門はイギリス文学。

2024年4月より文芸学部長。



経済学部長 大津 武

学部長からのメッセージ

独自の学び

経済学部へのご入学おめでとうございます。皆さんを本学部の学生として迎えることができ、経済学部教職員一同、とても喜ばしく思っています。

皆さんの中には、新たな環境での学びについて期待と不安が交錯した思いを抱いている人も少なからずいることでしょう。大学での学びを有意義なものにするコツの一つは、「主体的学び」を意識することであると思います。主体的学びは、各自の興味・関心に沿ったユニークな学習体験を可能にします。

大学では履修科目を選択する自由度が高くなります。もちろん、経済学部に入学者が経済学の基本的専門知識を身に付けるために、必ず履修し単位を修得しなければならない科目もありますが、それ以外は学生自身が履修科目を選択できます。本学部では、教育課程の見直しを重ねて学生の科目選択自由度を高めています。とりわけ、2年次以上では選択幅が広がります。幅広い教養を身に付けることに重きを置くことも、強い関心を持つ分野の理解を深めることに重きを置くこともできます。いずれの場合も、学生自身が学修計画を立て、随時見直し、履修する科目を決定することが必要です。これが主体的学びの第一歩となります。

主体的学びにおいて高い比重を占めるのが、自学自習の要素です。大学の授業は相当量の学生による自学自習を前提として設計されます。授業の概要や進め方は事前に授業計画(「シラバス」)に明示されますし、今回の内容が授業内で示されることもあります。学生は教室に来る前に授業内容に関して自分なりに理解していることが期待されます。授業では、既存の考え方や解釈、新たな視点や参考資料などが説明されますので、学生は、授業を通じて又は授業後に、それらを参考に熟慮し授業内容を消化・吸収することが求められます。この過程において、教員や学友との議論も重要となりますが、有意義な議論をするためには、まず自分なりに理解していることが前提となります。

皆さんは、これまでの学習経験から自身に最も適した学び方を体得していると思いますので、その方法を駆使して自学自習に取り組み、より良い学び方を身に付けてください。

最後に、学内に用意された多様な学習機会をとらえて主体的に学び、実践的スキルと柔軟な思考を身に付けることを勧めます。本学には、4つの教育系センター(共通教育研究センター、データサイエンス教育研究センター、国際センター、キャリアセンター)があり、卒業単位として認められる授業科目のほか、様々な教育プログラムや認定プログラムを提供しています。たとえば、データサイエンス教育研究センターは、データの整理・分析の基礎力を養成するプログラムを提供しています。データ分析は経済分析との親和性が高く、習得した分析手法の経済分析への適用を試みることで手法だけでなく専門分野についても理解を深めることができます。さらに、学生同士による学習支援活動(ピア・サポーター活動)や学内アルバイトの場で、意見や考え方の異なる他者と折り合いをつけて目的を達成する経験は貴重であり、柔軟な思考を涵養できます。

主体的学びの経験を通じて独自に学ぶ能力を高めておけば、皆さんが卒業後、次の段階に進むときには期待が不安を上回っているでしょう。まずは、学内で開催される様々なガイダンスやオリエンテーションに積極的に参加し、自身に適した主体的学びの計画を立てて実行してください。

大津武学部長 プロフィール

おおつ・たけし

Ph.D. in International Economics and Finance, Brandeis University (U.S.A.)

成城大学経済学部教授

専門分野 マクロ経済学

2025年4月より経済学部長。



学部長からのメッセージ

主体的に問いをたて
考えることの楽しさ

社会イノベーション学部長 南山 浩二

輩との関わりも大切です。こうした交流を通じて、「あたりまえ」が相対化され、新たな発想が生まれることも多分にあるはず。この体験が、皆さんの中に、わくわくした気持ちをもたらす主体的に問いをたて考えることの楽しさに繋がっていくでしょう。本学部での学びにおいて、常日頃から、自身の関心に基づき主体的に問いをたて考える姿勢を大切にしてください。

大学生活は自由度が高いからこそ、日々の行動を主体的に選択し過ぎていくことが求められます。一年後なり、半年後なり、短いタイムスパンで、大学での学びをはじめ、挑戦してみたいことを考えてみましょう。そうすれば、具体的な課題も分かり、その取り組みの中で、皆さんの興味・関心も膨らみ更なるチャレンジの原動力となります。他方で、戸惑うこともあるでしょう。無理もありません。皆さんにとって、成城大学での大学生活は、知識・情報としては知っていても、実際に経験したことがない未知の世界に他ならないからです。悩みごとなどがあれば、教職員や大学の相談窓口などに遠慮なく相談して下さい。教職員一同、皆さんの新たなチャレンジが実を結ぶよう様々な形でバックアップしたいと思っています。皆さんの大学生活が有意義な時間となり貴重な財産となることを願っています。

南山浩二学部長 プロフィール

みなみやま・こうじ

東京都立大学大学院社会科学部研究科博士課程単位取得満期退学。静岡大学人文社会科学部教授を経て、2013年、成城大学社会イノベーション学部教授。博士(社会福祉学)。専門分野は社会学(家族社会学・福祉社会学・質的調査法)。2025年4月より社会イノベーション学部長。

社会イノベーション学部の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからスタートする大学生活について期待や不安などいろいろな思いを抱えていることと思います。本学部での第一歩を踏み出した皆さんを、教職員一同、心より歓迎いたします。

大学での学びでは、専門的な知識・技術を身につけることだけではなく、自らの問題関心にに基づき問いをたて、その問いにフィットした手順・方法により解を求めていくことが重要です。その際、普段「あたりまえ」だと思っていることを改めて考え直してみる姿勢が大切です。受講生に、日本の大学進学率について調べたことをコメントペーパーに書いてもらっていますが、「大学進学者がとても少ない時代があった」「思っていたよりも大学進学率が低い」「地域差の大きさに驚いた」といった感想が見受けられます。卒業生の多くが大学に進学している高校で学んでいれば、大学進学は「あたりまえ」に思えてしまうということかもしれません。私たちは「社会的存在」であり、私たちの日常生活と人生は社会・文化・歴史に埋め込まれています。大学進学率のように、「あたりまえ」だと思っていることを、社会・文化・歴史などとの関わりも踏まえ再考する必要があるのです。

現在、国際社会では、地球温暖化、貧困問題、分断と紛争など、国内においては、少子高齢化や介護問題、子どもの貧困、環境問題、地域社会の再生など、重要な社会課題が存在しています。本学部では、イノベーションを様々な社会課題の解決に寄与し社会に変革をもたらすエンジンと捉え、今までにない新たな解決策を導く力を涵養していくことを目標としています。本学部には、経済学、経営学、心理学、社会学、英語など、多彩な専門分野の先生方がおり、様々なバックグラウンドをもつ学生や社会で活躍する先

学部長からのメッセージ

ようこそ

法学部長 川 淳一



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たち教職員は、皆さんを心から歓迎します。

世間の様相は、2019年に始まった疫病禍以降、おおきく変わりました。世界情勢も、日に日に不安定さを増しつつあるように思います。そのような中、私たち教職員は、当然のことではありますが、大学という営為を止めないための努力をしてきましたし、その核心部分は、当然、学生の皆さんの学修を止めないということでありました。それは、そのことが、みなさんの自己実現にとって有益であるだけでなく、あるべき世界の構築ということに必要なことであると確信しているからこそであります。私たちは、今年度も、これまでの経験も踏まえて、皆さんの学修環境を確保することに努めます。皆さんには、ぜひ、理解と協力をお願いいたします。

さて、ここで皆さんに一つ質問です。高校までの「勉強」と大学で皆さんが取り組むもの、すなわち、「学問」との違いは何でしょうか。わたくしは、それは、基本的には次のようなことであると思っています。すなわち、高校までの「勉強」というのは、一つの正解を覚える、あるいは一つの正解にたどり着くプロセスを覚えて、そのプロセスを上手に使えるようになるということである。それに対して、大学での「学問」というのは、これまで先達によって積み重ねられてきた研究・思索の成果を正確に理解し、それを基礎にして、さらに自らの考えの形成の仕方を身につけるということであって、そこには一つの正解があるとは限らないものだということです。

もっとも、私が高校生だった頃とは様相はだいぶ違ってきていて、一方では、高校にも「学問」の要素がだいぶ入ってきているように見受けられますし、他方では、大学にも「勉強」の要素が入ってきていることも認めざるをえません。ですから、私が申し上げたいことは、高校までの課程で皆さんが「学問」の要素に触

れることがなかったなどということではありません。言いたいことは、そういうことではなくて、今まで先達が積み上げてきたものを十分に修得できたならば、その先、すなわち、先達が積み上げてきたもののおかしなところや足りないところを見つけ出してそれらを是正し、もう一段積み上げていこうとする、そのことの結果だけでなく、その営為そのものが評価の対象となる、大学というのはそういうところだということなわけです。

もちろん、「もう一段積み上げる」というのは、実はとても大変です。「学問」の正解は一つではないのだから、「別解」なら簡単に見つかると思っていると高い確率で詰みます。前段落で営為自体が評価の対象となると言ったのはこのことに関わります。はっきり言ってしまうと、その営為は、結果だけをみれば多くの場合には「無駄骨」だということをお伝えしておかねばなりません。

こう言うと、皆さんは吃驚仰天かもしれません。自分たちは「無駄骨」を折るために4年間を費やすのか??と。実際、それはある意味では事実です。しかし、4年間、倦まず弛まず「無駄骨」を折り続けたとき、皆さんの中にはなにもものにも代えがたい強靱な思考力が備わっていることでしょう。これは、間違いなく、皆さん一人一人にとっても、そして、社会全体にとっても宝なのです。その宝を備えた4年後の自分を楽しみにして皆さんが大学生活を送ることを期待しています。

川淳一学部長 プロフィール

かわ・じゅんいち

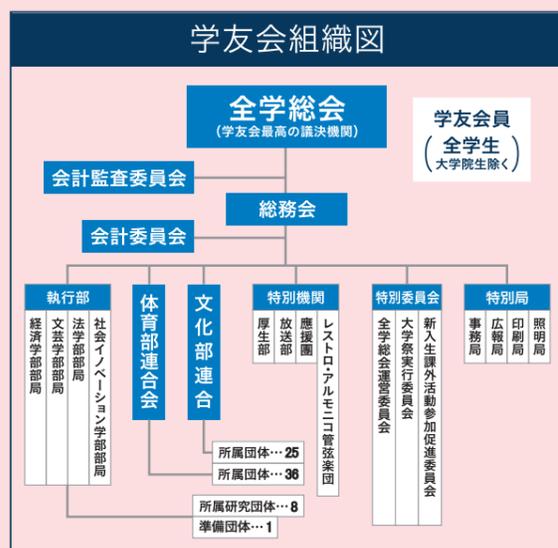
東北大学大学院法学研究科博士課程後期3年の課程退学。東北大学法学部助手、東北大学教養部助教授、東海大学法学部・法科大学院教授等を経て、2007年より成城大学法学部教授。専門分野は民法。2022年4月より法学部長。

課外活動紹介

大学には、正課授業の他に個人の才能や趣味に適した分野で、自主的に参加できる各種の課外活動があります。新入生のみなさんも、是非、積極的に課外活動・自治活動（学友会活動）に参加し、より豊かで潤いのある学生生活を送られることを期待しています。

学友会を知ろう！

「学友会」とは何か？ 成城大学生全員により構成されており、「学生の学生による学生のための自治組織」です。「学友会」は、学生生活や課外活動等で生じる諸問題など様々な事柄について検討したり、学生生活を充実させるためのイベント企画や運営などを行っています。みなさんは入学したその時から「学友会員」となっています。



特別委員会・特別機関・研究団体・特別局一覧

- ◆ 特別委員会
 - 大学祭実行委員会・新入生課外活動参加促進委員会
 - 全学総会運営委員会
- ◆ 特別機関
 - 厚生部・放送部・応援団リーダー部 / チアリーダー部
 - レストロ・アルモニコ管弦楽団
- ◆ 研究団体
 - エンカル研究会・会計学研究会・起業会・民俗学研究会
 - ミステリークラブ・マスコミ研究会・司法試験勉強会・ヨーロッパ文化研究会 (研究団体 準備団体) 歴史研究会
- ◆ 特別局
 - 事務局・広報局・印刷局・照明局

成城大学 課外活動



課外活動紹介

文化部連合を知ろう！

文化部連合とは、成城大学で活動している「文化的活動の促進のために組織された団体（部活・同好会・愛好会）」が構成している連合組織です。本学には音楽や映画など、多岐にわたる25の文化的活動団体があり、それぞれの分野で日々活動に励んでいます。その執行機関として文化部連合本部があり、本部では団体の取りまとめや活動支援などを担っています。

日頃の活動の成果を発表します

- ① 六月祭：
 - 毎年6月～7月に、学内施設や学外施設等を利用して団体毎に展示や発表を行います。(予定)
- ② 大学祭：
 - 毎年11月に開催される大学祭で団体毎に出展や発表を行います。(予定)
 - これらのイベントでは、複数の団体が、それぞれの強みを生かしたコラボレーション企画を行うこともあります。展示作品や発表の雰囲気ぜひご覧ください。



文化部連合所属団体一覧

- アイドル研究会
- アメリカ民謡同好会
- 映画研究部
- 演劇部
- 合唱団
- 華道部
- ギター部
- 軽音楽部
- 古美術鑑賞会
- サイクリングクラブ
- 茶道部
- 写真部
- 商業英語研究部
- 書道部
- 成城ラブライブ! 愛好会
- 生物部
- ダンス部
- 釣り部
- 天文同好会
- 美術部
- 文芸部
- ボランティア部
- 漫画研究会
- 落語研究会
- ボードゲーム部

成城大学 課外活動

課外活動紹介

体育部連合会を知ろう！

体育部連合会とは、成城大学で活動している「各体育的活動の促進のために組織された団体」が構成している連合組織です。本学には36の体育的活動団体があり、それぞれの競技、種目で日々活動に励んでいます。その執行機関として体育部連合会本部があり、本部では団体のとりまとめや活動支援などを担っています。



体育部連合会所属団体一覧

- | | | | |
|----------------|----------------|---------------|--------------|
| ● 合気道部 | ● 女子ゴルフ部 | ● 馬術部 | ● 洋弓部 |
| ● 男子アイスホッケー部 | ● サッカー部 | ● 男子バスケットボール部 | ● ヨット部 |
| ● アメリカンフットボール部 | ● 自動車部 | ● 女子バスケットボール部 | ● ライフセービング部 |
| ● 空手道部 | ● 女子サッカー部 | ● バドミントン部 | ● ラグビー部 |
| ● 弓道部 | ● 柔道部 | ● 男子バレーボール部 | ● 男子ラクロス部 |
| ● 剣道部 | ● 水泳部 | ● 女子バレーボール部 | ● 女子ラクロス部 |
| ● 硬式庭球部 (男子) | ● スキー部 | ● 男子ホッケー部 | ● 陸上競技部 |
| ● 硬式庭球部 (女子) | ● 漕艇部 | ● 女子ホッケー部 | ● ワンダーフォーゲル部 |
| ● 硬式野球部 | ● 卓球部 | | |
| ● 男子ゴルフ部 | ● 女子タッチフットボール部 | | |

成城大学 課外活動

課外活動紹介

新入生への課外活動参加に関する勧誘について

成城大学では、これまで紹介した学友会所属公認団体と、学友会所属ではない届出サークルに限り、学内での新入生に対する勧誘を認めており、運営は学生の自治団体である「新入生課外活動参加促進委員会」が行っています。興味を持った団体があれば、大学HPや各団体のHP、SNSなどで実際に部員の話聞くことができます。

SNSをチェックしよう！

「大学から新しいことに挑戦したい！」「高校では●●部に入っていたけど、大学のクラブではどんな雰囲気なんだろう？」「この団体って何をしているの？」「なんか面白そう！楽しそう！」「とにかく友達つくりたい！」「バイトと両立できるの？」などなど興味がある団体があれば積極的にSNS(X(旧Twitter)、Instagram、HP等)をチェックしてみましょう！活動の様子や、PRポイントなどが掲載されています♪



▲参考
アメリカンフットボール部
インスタグラム

課外活動の紹介ページはこちら



各団体の活動日・活動場所・年間スケジュールなど詳しく見ることができます♪

各課外活動団体の SNS リンク集はこちら



特別機関・研究団体 (P10)



文化部連合 (P11)



体育部連合会 (P12)

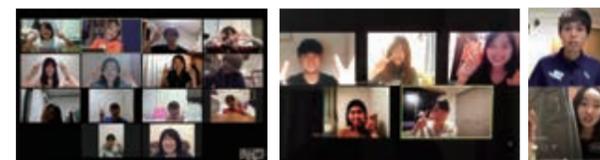
説明会・交流会に参加してみよう！

多くの団体で例年説明会や交流会を行っています。各部の先輩が直接行くので、クラブの雰囲気や活動内容がより詳しくわかります。(インスタライブや ZOOM 等で直接先輩と話せる団体もあります) 説明会の日程や方法は団体により異なり、多くは SNS を通じて案内をしています。興味がある団体の SNS をぜひチェックしてください。

学友会が発行する「クラブリサーチ」にも各団体の連絡先や活動内容がまとまっています！



(アイドル研究会TikTokより)



▲過年度の様子 (女子サッカー部、レストロ・アルモニコ管弦楽団、馬術部)

団体によっては Youtube や TikTok で動画を公開しています♪

悪質な勧誘に注意しよう

本学の学友会所属団体を装った、外部団体からの悪質な勧誘を受ける可能性があります。電話番号等の個人情報の取り扱いには、十分注意してください。また、**学内で不審な人物を見かけたり、SNS 上でも不審な勧誘を受けた場合は学生課へ報告してください。**【学生課連絡先：03-3482-9081 gakusei@seiyo.ac.jp】

年間行事紹介

イベントに参加しよう！

成城大学では、年間を通じて様々なイベントが開催されています。イベントには学生主催のもの、大学主催のものがあります。これらに積極的に参加して様々な体験をすることで、学生生活を有意義なものにすることができるでしょう。

HP このアイコンが付いているイベントは、「成城大学 ○○ (イベント名)」で検索すると大学HPの記事を確認できます。

4月

各種オリエンテーション・ガイダンス

新 入生にとって非常に大切な行事です。日程に従い、必ず出席してください。

5月 **HP**

「学長杯」伊勢原スポーツデイ

成 城学園伊勢原総合グラウンドを会場として開催されるスポーツイベントです。軟式野球、サッカー、ソフトボールの3種目があり、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。

※今年は6月1日(日)に開催予定です。

6月～7月

六月祭

文 化部連合所属団体による展示や発表会。学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。

10月 **HP**

四大学運動競技大会

学 習院大学・成蹊大学・武蔵大学・成城大学の四大学でスポーツを通じた各校の交流を目的として毎年秋に開催されている伝統ある運動競技大会。体育会所属団体による「正式種目」、一般学生による「一般種目」に分かれており、各部門の各種目で対抗戦を行い、総合得点を競い合います。

※今年は10月17日(金)～19日(日)に成城大学で開催予定です。

11月 **HP**

柳祭 (文化祭)

成 城学園文化祭として幼稚園から大学まで学園全体が一体となって開催される一大イベント。中でも、柳祭は11月2日・3日に開催され、様々な展示・発表・公演・イベント等が催されています。各団体が日頃の活動・研究の成果を発表するだけでなく、成城商店街など地域社会との交流を深める催しも多数企画されています。

12月 **HP**

成城レガッタ

埼 玉県戸田オリンピックボートコースで開催される手漕ぎのボートレース。4人のクルー(漕手)と1人のコックス(舵手)の計5人1組でボートに乗り、300Mの距離を競い合います。種目は男子/女子/混合の3部門あり、サークルの仲間、部活の仲間など誰とでも気軽にチームを組んで参加できます。

※今年は12月6日(土)に開催予定です。

12月

十二月祭

文 化部連合所属団体による展示や発表会。六月祭と同様に、学内外で文化系の団体が日頃の活動の成果を発表しています。



新入生の保証人(父母等)の方々へ

新入生が大学生活を
よりよく送るために

ご子女のご入学、心よりお祝い申し上げます。新入生は今日この日から、本学学生として新しい学生生活の第一歩を始められました。

さて、大学では高等学校の授業のように決められた科目を同じクラスで受講するのではなく、学生自身が

授業科目を選択して、計画的に履修していくことになります。自らの意思で勉強・研究に取り組むことができるという特徴をもっている反面、自由に流され、目的を見失ってしまうことも少なくありません。そのため新しい環境に適應できず、様々な悩みをもつ学生も増えて

きております。

こうした見地から新入生の保証人(父母等)の皆様、大学生活のことでぜひ知っておいていただきたいことを書き述べておきます。

✔ 授業の出席について

成城大学学則第23条第1項の規定により、授業科目の出席すべき時間数の3分の1以上欠席した学生は、当該授業科目修了の認定を受けることができません。また、授業に遅れてくる学生がいますが、1時限目は9時から始まることを、ご承知おきください。(ただし、定期試験の実施時間は授業時とは異なりますので、ご注意ください。)

✔ 学生への伝達について

本学では、学生へのすべての伝達をLiveCampusU(教務システム)の連絡通知と大学構内の掲示板によって行っております。

いったん掲示したお知らせは周知されたものとして取り扱っておりますことをご承知おきください。



✔ 電話呼び出し・照会について

本学では、個人情報保護の観点から、学外からの学生の住所・電話番号等、個人情報に関する問い合わせには一切応じておりません。また、高校時代とは違い、保証人・家族・友人からの電話による呼び出しにも対応できません。あらかじめご了承ください。

✔ 一人暮らしについて

地方から上京される学生は慣れない一人暮らしとなりますので、生活環境の変化や解放感などから、様々な問題が生じやすくなります。十分な睡眠や食事のバランスなどを配慮した規則正しい生活を送るためには、かなりの自制心が必要とされます。

行動範囲が拡大され、自由奔放な行動をとるようになり、その結果、体調を崩したり、授業を欠席しがちになる学生もしばしば見られます。

日頃から連絡を取り合い、生活状況をよく把握していただくことが望ましいと思われま



✔ 奨学金制度について

奨学金制度の多くが、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的としています。

日本学生支援機構の奨学金をはじめ、給付、貸与の別に関わらず、学生本人への援助を目的としており、申込や採用後の各種手続きなどを他者が行うことはできず、全て学生本人が自覚をもって行う必要があります。掲示板・LiveCampusUの「連絡通知」等を定期的を確認し、情報の見落としがないよう注意する必要があります。



✔ 身の回りに潜むトラブルについて

近年、学生を取り巻く環境は大きく変化しています。ネット社会となった現在の大学生は情報化社会の中で育っており、eメールはもちろんのこと、FacebookやX(旧Twitter)、LINE、TikTokなどのSNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス)がコミュニケーションツールとして完全に定着した世代です。大学生活においても、SNSによって入学前から友達づくりを始めるなど、これまでの人間関係づくりとは大きく様変わりしています。

さらにはこれらによって、個としての自分に向き合う時間や機会が少なくなっていることや、様々な、そして大きなトラブルに巻き込まれるケースが増えていることも間違いありません。

また、DVD販売などを目的とした「マルチ商法」や、ゴスペルサークルの名をかたっての「宗教勧誘」、さらには世間を騒がす「危険ドラッグ」や「二十歳未満の飲酒」など、大学生に降りかかるトラブルは後を絶たない状況です。

これらのトラブルに十分注意するとともに、常に身の回りには危険があるということを認識して行動してください。



✔ 就職・キャリア形成について

大学生活が始まったばかりの新入生が、卒業後の進路をイメージすることは難しいかもしれませんが、働くことや、仕事について少しずつ考え、大学生活で何に取り組むかを悩み、行動していくことは、自身の人生を豊かにしていくためにも重要なことです。

キャリアセンターでは、こうした将来について考えるための様々なプログラムを用意しています。1年次から門戸が開かれており、正課(キャリアデザイン科目)の他に、「澤柳塾」等の正課外プログラムを受講することができます。どの授業およびプログラムも、自身のこれからの人生について考えたり、充実した学生生活を送るためにはどうしたら良いかを具体的に学ぶことができる内容になっています。

こうしたプログラムを通じて、自身の「キャリア」を形成していくことに1年生のときから取り組んでいただければと思います。



✔ 留学と国際交流について

成城大学では、国際理解と視野を広げるための多様な機会を提供しています。短期語学研修や交換・認定留学、学内での国際交流の相談は、国際センター窓口にて受け付けます。

留学では、チャレンジをしようという態度と自ら問題解決を行う努力が必要となります。学生本人がよく考え、当事者意識をもって、留学の相談や準備をすることが望まれます。

施設紹介

食堂・売店 information

各食堂施設では手ごろな値段のメニューを提供しています。
食べ比べながらお気に入りを見つけてみてください。

成城大生限定の「100円朝食」
(8:20~10:00/限定50食)
を実施しています。
是非、ご利用ください。

SEIJO ちかぱん (大学食堂棟 B1F)



SEIJO×10 (大学食堂棟 1F)



学生ラウンジ (7号館 B1F)



学生食堂 (大学食堂棟 1F)



フードトラック (キッチンカー)



9号館前広場に日替わりで
様々なお店が登場します。
是非、ご利用ください。



施設 information



Lounge #08 (8号館 1F)



図書館アクティブラーニングエリア
(図書館 1F)



PickUp

トレーニングセンター

ご入学おめでとうございます。トレーニングセンター(通称:トレセン)は校舎のそばを流れる仙川の向こう、赤い屋根の建物です。ここではフィットネスクラブさながらの設備が揃っています。最新マシンも導入されているジムに採暖室・ジャグジーバス付の温水プール、体育館にはダンスに最適な大きい鏡まで。運動できる服装さえあればトレーニングからバスケットボール、バドミントンなどのスポーツが楽しめます。

人が元気に生活していくために不可欠なのが、「食事」「休息」そして適度な「運動」です。スポーツクラブに通うのは大変でも、学園内の施設であれば授業の合間や少しの空き時間に通うことができます。大学生は自由に使える時間が増えます。在学期間をどう過ごすか、空き時間に何をすることも自分で決められます。その空き時間の選択肢の一つ



として「友達と体を動かす」というのも入れてみてください。スポーツやダンスはもちろんのこと、ダイエットや体づくりも友達と一緒にやるだけで楽しく継続でき、とても良い思い出になると思います。

今まで運動したけど効果があまり出なかったという人でも、トレセンには専門のスタッフが常駐しているので、いつでも気軽に相談に来てください。

スタッフ一同、みなさんの元気な顔が見られるのを楽しみにしています。



学生部長からのメッセージ

新入生の皆さんへ

学生部長
中野 智世



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんを成城大学にお迎えできて、とても嬉しく思います。学生部一同、皆さんを心より歓迎いたします。

学生部は、授業や学習に関する正課以外の大学生活全般について皆さんをサポートする部署です。部活動や学友会活動、校内行事、アルバイトや奨学金、休学・復学の手続きなど、大学生活の様々な場面で皆さんと関わりのある場所です。何か困ったとき、わからないこと、相談したいことができたときには気軽に窓口を訪ねてください。

さて、私は文芸学部の教員なのですが、一年生の授業クラスを担当するときに決まってしまうことがあります。

まず、4月初旬の最初の授業では、自己紹介に加えて勉学以外にやってみたいこと、そして今ちょっと困っていること、心配なことを一年生の皆さん一人ひとりに話してもらいます。「サークルや部活に入りたい」、「今までやったことのないことをやってみよう」、「アルバイトをしたい」、「一人旅がしたい」などの声上がる一方で、「友達を作りたい、でも自分から声をかけるのはちょっと苦手」、「初めての一人暮らしで朝起きられるか心配」、「教室がわからない」、「長時間の電車通学が大変そう」といった声もよくあります。期待もあるけれど不安も一杯という様子うかがえます。

次に、前期の授業も終わりに近づく7月中旬頃にやってもらうのが、前期の学生生活の振り返りです。「大学は自由に好きなことを学べるので楽しい」、「アルバイトや課外活動などでも充実してい

た」、「交友関係が広がった」という声もある一方で、「生活のリズムを作るのが難しかった」、「大学の授業のやり方に慣れるのが大変だった」、「はじめての定期試験が心配だ」といった声もよく聞きます。大学生活に慣れてはきたけれど、思うようにはいかなかった、後期はがんばりたいというコメントもしばしばあります。

そして翌年の1月半ば、後期の授業の最後には、「大学生になってもうすぐ一年、今思うことは?」というお題でコメントを書いてもらいます。楽しかった、大変だった、思い描いたのとは違って、様々な意見があるものの、多くの学生さんが挙げるのは「あつという間の一年だった」ということ。こんなに早く一年が過ぎてしまうのなら4年間もすぐに過ぎたいと書く人も少なくありません。また、大学生は自由だけれど、その分いろいろなことを自分で決めて、自分でやらなければならない、自由には責任がともなうことがわかった、あるいは、自分は今までいろいろな人に支えられ、守られていた、家族のありがたみがわかったという意見もよくあります。

このように、ちょっとしたコメントを定期的に書いてもらうだけでも、大学一年生が新しい環境のなかで様々な経験を積み、いかに大きく成長しているかがわかります。4月には不安気だった一年生も、それぞれに自身をみつめ、徐々に自分の考えを述べられるようになってくるのです。

学生部は、こうした皆さんの大切な時期を側面からサポートします。皆さんが楽しく充実した大学生活を送ることができることを心から祈っています!

Campus Seijo News & Information

S 新入生への各種お知らせ

■新入生対象教職課程ガイダンスについて

対象 教職課程登録を検討している経済・文芸(国文・英文文化史・ヨーロッパ文化学科)・法学部の1年次生

教職課程登録を検討している1年次生を対象として、教職課程の概要、1年次に履修できる科目等に関する説明をオンデマンド方式で行います。詳細はWeb Classをご確認ください。また、履修科目登録上限単位数の特例措置を受けるためには、9月に所定の手続きを行う必要がありますのでご注意ください。

【教務部】

■教科書販売について

日時 4月7日(月)8:30~4月25日(金)16:30(予定) ※土日は休業
場所 杉の森館2Fホール(9号館2階より入退社してください)

・上記販売期間中は、売店での直接販売は一切行いません。
・返品・交換はできませんのでご注意ください。
・購入方法等 詳細についてはLiveCampusUでお知らせします。

【教務部】

■「成城 学びの森」(生涯学習支援事業)より、各種講座のご案内

① コミュニティー・カレッジ(すべて対面型/無料)

本学教員を講師として、例年春夏(5~7月)と秋冬(10~12月)に生涯学習支援事業を行っています。本来当講座を受講する際には、受講料が必要ですが、本学在学(本人のみ)は3講座まで無料で受講することが可能です。学生の皆さんには、ご自身の所属学部以外の先生の講義を受講できるチャンスです。受講希望者は詳細を本学ホームページならびにLiveCampusUにて確認後、学びの森事務局(2号館2階)で手続きをしてください。(各講座3名まで/先着順) ※定員に達した場合は受講できない可能性があります。

2025年度 成城学びの森 コミュニティー・カレッジ春夏講座

No	講師名	講座名	講義回数	受講料
1	境 新一	地域&企業の連携によるパーパス達成と新事業創造・人と生成AIの融合による業人発想・玄人実行の実現	6回	¥12,000
2	赤塚 健太郎	17~18世紀のオペラの魅力	6回	¥12,000
3	鈴木 正信	日本古代の神話と系図 一国宝『海部氏系図』を読み解く	6回	¥12,000
4	新倉 貴仁	成城と映画—高田雅彦氏と語る 日本映画の傑作・名作は、ここ成城でつくられた	8回	¥16,000
5	谷内田 浩正	ジーン・ティアニーの瞳に恋をして 愛と嫉妬と裏切りの1940年代映画	5回	¥10,000
6	打越 綾子	日本の動物政策	6回	¥12,000
7	内田 真人	金利のある世界への招待 物価高時代の知識と戦略	5回	¥10,000
8	岩見 寿子	映画で知る北アイルランドの 歴史と社会	6回	¥12,000
9	小沢 詠美子	葛屋重三郎と出版文化	6回	¥12,000
10	フランスス・ユーザ	Exploring the world, through the book "Of the Map"	8回	¥16,000
11	谷脇 由季子	澤柳政太郎という「カレイドスコープ」 成城学園創設者の実像に迫る	6回	¥12,000
12	田村 義也	文芸作品の中の南方熊楠	5回	¥10,000
13	中根 美知代	バスカルの科学思想 信仰との葛藤の中で	4回	¥8,000
14	デイビッド・ハリソン	In Sickness & In Health	8回	¥16,000
15	渡邊 孝士郎	「剣道」を学ぶ —実践と理法を考える—	5回	¥10,000

② オープン・カレッジ (オンデマンド型/無料)

近年は以下の講師の方々のご講演がありました。このほかにも本学園に縁のある方々の魅力的な講義をご視聴いただけます。

講演者	テーマ
田谷 昂大氏 (田谷漆器店代表、石川観光大使 成城大学経済学部卒業)	輪島塗でツナグ能登半島の未来
田代 興大氏 (一般社団法人 狛江まちみらいラボ、 ほこみちエバンジェリスト)	狛江駅周辺における 「市民が中心のほこみちプロジェクト」

③ ビジネスキャリアデザイン講座Ⅳ(オンデマンド型/登録・視聴無料)

世田谷区内6大学(国士館大学、駒澤大学、昭和女子大学、成城大学、東京都立大学、東京農業大学)と世田谷区および区内産業界の講師が、若手ビジネスパーソン向けに、実践的な内容の講座をお届けしています。4年目となる2024年度は、AIや、将来のお金のことなど、若手世代が「気になっていること」をテーマに、9つの講座を開講中です。

講義テーマ	担当講師	大学名
① テーマパークに学ぶ:観光マーケティング	河田 浩昭	国士館大学
② 英語コミュニケーションを考える: 英語と日本語の発達の違いに着目して	北原 賢一	駒澤大学
③ AI技術とコンテンツの創作	平井 辰典	駒澤大学
④ デジタル化時代における消費者被害と予防策	加納 克利	昭和女子大学
⑤ 未来のお金を計画する: ライフイベントに備えるお金の知識	吉岡 豊司	昭和女子大学
⑥ デザイン思考とユーザー体験(UX)の構想	蓮池 公威	東京都立大学
⑦ 20~40代に予想されるライフイベントと費用	岩井 敏人	世田谷信用金庫 (W/成城大学)
⑧ 社会人の学びの現状と課題 ~BCDを活用した学びのススメ~	長尾 繁樹	成城大学
⑨ 健康をサポートする食品選びの基礎知識: 特定保健用食品と機能性表示食品の違いを解説	服部 一夫	東京農業大学

*各詳細は以下よりご確認ください。



① コミュニティー・カレッジ



② オープン・カレッジ

③ ビジネスキャリアデザイン講座
【「成城 学びの森」事務局】

■国際センター各種説明会

内容	日程	教室
SIEP(成城国際教育プログラム)説明会	4月4日(金) (経・法)9:00-9:30 (文・社)12:30-13:00	322教室 (3号館2階)
国際交流科目 「Academic Skills III (English Writing)」デモレクソン	4月4日(金) (経・法)9:30-10:00 (文・社)13:00-13:30	
SIEP オックスフォード研修 短期研修説明会	4月4日(金) (経・法)10:00-10:30 (文・社)13:30-14:00	
海外短期語学研修合同説明会 (英語:カナダ・ニュージーランド・マレーシア)	4月4日(金) (経・法)10:30-12:00 (文・社)15:00-15:30	成城グローバル ラウンジ (9号館1階)
国際交流サポーター説明会	4月5日(土) (社)11:30-12:15 (経・文・法)13:00-13:45	
交換・認定留学制度説明会	4月7日(月) (経・法)10:00-10:45 (文・社)15:00-15:45 4月10日(水)12:15-12:50	
「毎日英会話」説明会・ デモレクソン	4月7日(月) (経・法)11:15-12:15 (文・社)13:45-14:45 4月10日(木)・11日(金) 12:15-12:55/14:40-15:20/16:20-17:00	
海外短期語学研修説明会 (英語・カナダ)	4月14日(月)12:15-12:50	成城グローバル ラウンジ (9号館1階)
海外短期語学研修説明会 (中国語)	4月15日(火)12:15-12:50 4月24日(木)12:15-12:50	
海外短期語学研修説明会 (英語・ニュージーランド)	4月16日(水)12:15-12:50	
海外短期語学研修説明会 (英語・マレーシア)	4月18日(金)12:15-12:50	
海外短期語学研修説明会 (スペイン語)	未定	成城グローバル ラウンジ (9号館1階)
韓国サマースクール説明会	未定	

※(経・法)等の学部の指定がないものは、どなたでも参加可能です。毎日が英会話、交換・認定留学制度説明会等の各回で説明する内容は同じです。

【国際センター】

Campus Seijo News & Information

■日本学生支援機構の各種奨学金について

①＜新規出願希望者対象＞

・日本学生支援機構の「貸与奨学金」について

日本学生支援機構は、総合的な学生支援を目的として設立された独立行政法人であり、日本学生支援機構奨学金は、大学生が利用する最も代表的な奨学金制度です。出願希望者は以下の【手続き方法】を確認して、必ず期限内に各自申込みをしてください。

・日本学生支援機構の「給付奨学金」について (授業料等減免も同時に受けることができます)

成城大学は2020年度より導入された、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生を対象に「給付奨学金」と「授業料等減免」を行い、修学意欲の高い学生を支援するために設けられた「高等教育の修学支援新制度」の対象校として認定されています。

※2025年度から開始される「国が定める多子世帯に該当する学生に対しての大学無償化(授業料等免除)」もこれに含まれます。

出願希望者は以下の【手続き方法】を確認して、必ず期限内に各自申込みをしてください。

【手続き方法】

4月上旬に学生ポータルサイトLiveCampusUの「学内連絡」に具体的な手続き方法を配信します。希望者は配信内容を確認し、期日までに手続きを行ってください。

②＜高等学校等在学時に採用候補者として決定している方＞

高等学校等で日本学生支援機構の「貸与奨学金」または「給付奨学金(授業料等減免も含む)」の申込みを行い、採用候補者として決定している方は、大学にて進学届等の手続きを行う必要があります。具体的な手続き方法は、4月上旬に学生ポータルサイトLiveCampusUの「学内連絡」に配信をしますので、必ず確認し、期限内に必要な書類を奨学金窓口へ提出してください。

【学生部】

■定期健康診断(問い合わせは保健室)

日程	4月14日(月)	午前9:30～12:30(女子) 午後2:00～4:45(女子)
	4月15日(火)・16日(水)・17日(木)	午前9:30～12:30(男子) 午後2:00～4:45(女子)

場所 澤柳記念講堂ロビー
項目 身長・体重測定、尿検査、血圧測定、胸部レントゲン撮影、内科診察
※4月14日(月)は終日女子のみです

【学生部】

■自転車通学を希望する場合(年度ごとに申請)

学生課で登録申請を行い「登録ステッカー」を受け取り、自転車本体の目立つ位置に貼付してください。

自転車は指定された場所に、駐輪してください。年度ごとに更新していなかったり、所定の場所以外に駐輪した場合は撤去します。

なお、バス、電車での通学との併用はできません。定期券を購入している学生には「登録ステッカー」は発行いたしません。

【学生部】

■「LiveCampusU(ライブ・キャンパス)」について

LiveCampusUは、学生生活に必要な情報をインターネットから閲覧・登録できるシステムです。

スマートフォン・アプリからも閲覧可能です。

●アクセスURL(アドレス)

<https://lc.seijo.ac.jp>
大学ホームページ → 在学生の方へ → LiveCampusUからもアクセスできます。

●LiveCampusUで利用できる情報

- 連絡通知 : 休講・補講・教室変更やその他授業に関するお知らせ、学生生活に関するお知らせの確認
- スケジュール・予約 : 時間割参照
- 履修登録 : 履修登録および抽選登録
- 授業・課題 : シラバスの参照や課題提出
- 成績情報 : 成績評価や単位修得状況、GPAの参照
- マイInfo : 学生情報の確認
- キャンパスInfo : 学生自身の住所・電話番号変更申請、学内FAQ(よくある質問)

CS 担任・学生委員について

本学では、担任、学生委員など、教員と学生とのふれ合いを第一の目的とした学生担当制度があります。どのようなことでも気軽に相談してください。また、2年次以降も、ゼミナール・基礎演習・専門演習などの担当教員から指導・助言を受けることができます。

2025年度 1年生担当(担任・学生委員)

■経済学部

学科	担当
経済学科	竹田 泉(経済学科主任) 新井 学(基礎教育主任)
経営学科	境 新一(経営学科主任) 新井 学(基礎教育主任)

■文芸学部

学科	担任
国文学科	上野 英二
英文学科	坪野 圭介
芸術学科	高橋 健一
文化史学科	俵 木 悟
マスコミュニケーション学科	新倉 貴仁
ヨーロッパ文化学科	中山 俊

■法学部

	学生委員
1年生担当 学生委員	田中美里
	久保英二郎
	森永淑子
	太田晋
	永井典克

■社会イノベーション学部

	学生委員
1年生担当 学生委員	竹之内 玲子
	保坂 稔
	磯野 達也
	山本 匡毅

CS 2025年度学事・行事暦(予定)

■前期

4月 1日(火)～	新生オリエンテーション・各種ガイダンス 7日(月)まで
2日(水)	入学式 履修登録(抽選登録)開始 9時
4日(金)	履修登録(抽選登録)期限 16時
5日(土)	履修登録(抽選登録)結果発表 12時(予定) 履修登録開始 12時 ※14日(月)13時～15日(火)9時までの期間は、 抽選処理のため、履修登録はできない
8日(火)	前期開講
14日(月)～	定期健康診断 17日(木)まで
17日(木)	履修登録期限(学部3・4年、大学院) 13時
18日(金)	履修登録期限(学部1・2年) 13時
29日(火)	【昭和の日】授業実施
5月 10日(土)	振替授業実施(月曜日の授業を行う)
6月 1日(日)	伊勢原スポーツデイ
27日(金)	全学総会 ※5限のみ休講
7月 21日(月)	【海の日】授業実施
22日(火)	前期授業終了
23日(水)～	学期末定期試験 30日(水)まで
8月 1日(金)～	夏季休業 9月21日(日)まで

■後期

9月 22日(月)	後期開講
23日(火)	【秋分の日】授業実施
10月 13日(月)	【スポーツの日】授業実施
17日(金)～	第76回四大学運動競技大会 19日(日)まで 今年度は成城大学にて開催 ※17日(金)、18日(土)は休講
25日(土)	振替授業実施(金曜日の授業を行う)
11月 1日(土)	大学祭準備のため休講
2日(日)～	学園文化祭-柳祭- 3日(月)まで
4日(火)	文化祭後片付けのため休講
8日(土)	振替授業実施(月曜日の授業を行う)
24日(月)	【勤労感謝の日振替休日】授業実施
12月 6日(土)	成城レガッタ
25日(木)～	冬季休業 1月7日(水)まで
1月 8日(木)	授業開始
20日(火)	後期授業終了
21日(水)～	学年末定期試験 30日(金)まで
3月 23日(月)	学位記授与式

チョコっとコラム

チョコラム

『「学ぶ」ことは「変わる」こと』

学生相談室カウンセラー 関 真利子

新生の皆さん、ご入学おめでとうございます。大学生として新しい環境、その中で、あたらしい師、新しい仲間とともに、新しい学びの日々をスタートする、今日2025年4月2日はあなたにとっての記念すべき1日です。

そんなあなたに質問です。

あなたにとって「学ぶ」とはどのようなことでしょうか。

きっといろんな捉え方があるだろうと思います。この機会に、身近な周りの人に聞いてみるのも面白いかもしれません。思いもよらない返答や、自分とは全く違う捉え方に遭遇するかもしれないし、それまで思っていたことはなかったけれど、聞いてみるとなるほど…と納得する捉え方に出会うかもしれません。

ちなみに私が「学ぶ」ことについてどう捉えているかというと、それは「変わること」だと思っています。昨日の自分が知らなかったことを今日の自分は知っている。そのことで、昨日の自分が気づかなかったことに今日の自分は気づいたり、そこから新しい発想が生まれたり、広がったり。そんな、つながりを持った変化なのだと思います。

「学ぶ」ことは、いつでも、どこでもできることですが、その中でも「学校」と名の付くところは「学ぶ」ことを主たる目的として用意された特別な環境です。何を「学ぶ」のか、何から「学ぶ」のか、どのように「学ぶ」のか、そしてその学びをいかに活用していくのか。大学は、これまでの「学校」に比べて一段と「学ぶ」ことにおける主体性を重要視しているところといえるでしょう。

「学ぶ」ことが「変わる(Change)」ことなのだとしたら、大学は「変わる」ことを楽しむ場/機会(Chance)と言うこともできます。実は伝統を引き継ぐことでさえ、1ミリも変えずに次へと手渡すことは不可能です。伝承に生身の人間が介在する以上、その個人の持つフィルターを通して引き継ぐよりほかにはなく、そうして引き継がれたものは、すでにその個人のフィルターによって濾過されたものであって、多少なりとも嫌でも変化しているものです。伝統を引き継ぐことはむしろ積極的に「変えない」ことへの試みのようにも見えますが、よいもの

や伝統を残していくために如何にその核となる部分を変えずに守っていくのかといったことにおいて、その工夫の仕方は変える必要があり、その意味では変化することを試みている(Challenge)ということができるのです。

「学ぶ」機会(Chance)を逃さず、「変わる」こと(Change)を恐れず、新たな「試み」(Challenge)を重ねていく。

大学時代、このChance/Change/Challengeをぜひ実践してほしいと思います。知らないことを知る、やったことないことをやるというとき、そこには何かに出会う前のワクワク感と、そして知らないことへの不安と緊張が同居しているものです。ちょうど今の皆さんが、大学生活に対して感じていることとよく似ています。つまり、今日の瞬間も皆さんは学びの中にあつて、今まさに刻々と変化しているのです。

スタートを切るということはまた、それがすでに変化であり、試みです。皆さんはChangeのためにここにいます。そしてそれはあなたの可能性に拓かれるChallengeなのです。「学ぶ」ことは「変わる」こと。そのための場/機会がここ、大学です。限りないChanceが待っています。しかしそのChanceは、そこに有るだけではその意味成さず、その価値を示すこともありません。あなたのところにやってきたChanceをあなたはどうか活かしますか。あなたがそのChanceを活かしてこそ、それは意味を成し価値を生むのです。それができるのはあなたしかいないということをお伝えし、今日、この日にお伝えしておきたいと思います。



*学生相談室では皆さんの充実した大学生活をサポートしています。いつでも、どんなことでもお気軽に足を運んでみてください。

新 入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから皆さんの学生生活が始まりますが、楽しく有意義な4年間になるようにしていただきたいと思います。

さて日頃バスや電車の中で周囲の人々を観察していると、多くの人がスマートフォン等の操作のため画面に目を落としており、人によっては音楽を聴いているのかゲームに興じているのかイヤホンやヘッドフォンを着用している場合もあり、周囲の事にまるで無関心というか自分の世界に入り込み、他人との接触を拒んでいるかのようにも見ることがあります。そんな状態では車内アナウンスも聞こえず、自分の荷物や行動によって周囲の人に迷惑を掛けていてもそのことに気付かない場合もあるでしょう。そしてそれが原因で、トラブルに発展することも無いとは言えません。

そこで皆さんの新しい生活が始まるにあたり、これを機にスマートフォン等を操作する時間を減らして、身の周りのことに目を向けてみたらいかででしょうか?例えば通学中のバスや電車の車窓から素敵な景色が見られるかも知れません。或いは同じ車内に面白そうな人を見つけ新たな出会いに発展するかもしれません。身の周りに目を向けるということは、新たな発見や出会いを生み出すと同時に周囲への気遣いも出来るようになり、つまりは正常なコミュニケーションが行われるということに繋がるのではないのでしょうか?

これからの長いようで短い学生生活を有意義な時間にするためにも、成城で正常なコミュニケーションをスタートさせてみてはいかがでしょうか。(H・I記)

編集後記